

2018年8月5日の報告

原発いらいん 山口ネットウワウ



第368号

次の集り

2018年9月9日(日) 14時

場所 周南市総合庁舎3F

きずなルール



今年、ヒロシマ8.6の夕方、平和公園で起ったこと。

福島原発事故から関西へ避難した「Go West, Come West」東北・関東放射能汚染からの避難者と仲間たちが公園の一角で、原爆死者への追悼と、原発事故被害のアピールを行っていました。

東日本の放射能被害の英語スピーカーやチラシ、横断幕に対し大勢の外国人や日本人が立止って受取。聞き入り、肉心の高さが明確でした。

自分から英語のチラシをマイクで読み上げてくれる外国人も。

また福島原発二世の人も、福島と福島の被害は一直線につながっていると熱くツギツギと、地元の人も大勢立ち止まり、相互には交流の場になりました。

ところがそこに突然ミリタリルックの謎の通行人がカメラを構えて大声で文句を言い被害者の撮影を始めた。そして、誰も彼には接触していないのに「カメラを壊された」と11番通報。

自分たちは何もしていないし、言いがかりだと言ったのに上司と連絡を取ると、突然「カメラを壊した目撃証言が取れた。警官署に連れていく」と支援者の女性Aさんに手錠をかけ、パトカーに放り込み、

代表者 小中 進
〒742-1513 山口県熊毛郡田布施町大字麻郷2208
Tel. FAX. 0820-55-6291
振込口座(年会費2000円)
(郵)01590-5-274 69
口座名 原発いらいん/山口ネットウワウ
作製・印刷 周防灘の自然を守る会 三浦 翠

イージス・アショア予定地の200m北には肥沃な白米、ナス畑がひろがり、近くには刃月の名水が湧き、中にはビールと甘いフルーツを生かしている。イージス・アショア

器物損壊罪で不当逮捕された。まわりにいた人の「警官はなにをいってるんだ」という抗議の声も無視。

最悪心の広島県警本部との遭遇

弁護士接見も許されないうち、Aさんはハリストで抗議。警官署はAさんが脱水症状、吐くまで放置。医師は命が危いから救放して入院させることを求めたが、タカイ検事は拒否。医師が通院でも1日以上の点滴が必要と言っても、時間がかかるといふので、1日しかさせなかった。これでは死んでもおかしくない。

——まるで戦前の大日本帝國の警官署のようだ。(M)

この時のスピーカーです。少し長いですが全文です。 ↓ P 5 6

8月17日、ひとまずAさんは釈放されましたが、告訴されるかどうかは未定。

弁護士費用など
救済カンパも!
(郵)00140-2-750198
加入者名 みんなのQ (社)
ゆうちょ銀行
0-9店
(山口県松山-店)
店番号019
当座0750198
加入者名
みんなのQ (社)



復興庁が2018年3月に「放射線のホント」というウェブ掲載のパンフを発行。

なんとしても許せないのは、フクシマの事故で県民市民をヒバクさせたのは、東電・国の方なのに、「放射線は危いとさう」県民市民のが間違っていると聞きなふつこいことですよ。

いくつかの団体があるもの出すと申し入れをしたのに聞かず、税金を使って、色刷りのパンフをバラまいています。

内容の一部です。 ↓ P 7

次号に反対の署名者名甲紙を入れます。

7月11日、最高裁や二小法廷(悪名高い)は橋田隆亮さんの「原発労災認定を棄却」。

原子力資料情報堂の通信より ↓ P 7

イベント情報は ↓ P 4

- 参加地域 田布施、光、下松、周南、山口、宇部
- 小中代表より、
連日30度を越える猛暑の中、お盆前ご何かとお忙しいと聞かれます。
熱中症にならないよう気をつけてやりまじう。
- 「原発いらん」山口ネットワークもはじめから31年になります。



● 現地のようす。

5月19日に田の浦に行った後、まだ行けていないので...

祝島では船付場が埋立地の方に移って、浮桟橋になったそうです。

若い人達に子供が生まれたので、自治会長さんが祝島小学校を再開するよう教育委員会に申し入れをされたそうです。

新南によると、11月に上関町と朝鮮通信使交流会が開かれる。日贈朝市の新鮮な魚が好評など。

● 近日中に「原発のない未来を」柳井地域の会の総会も予定されています。

● 上関原発用地埋立禁止住民訴訟で、山口地裁は県がズルズルと埋立免許の判断をのぼしたのは違法との判決を出した。

ところが、村岡知事は、7月23日に広島高裁に控訴した。

どういふ論拠で控訴したのか、文書を取り寄せて精査する必要がある。

この判決に基づけば、村岡知事が2016年8月3日に出した埋立許可は無効である。

この判決をどう活かすのかが、検討しよう。

※「控訴理由書」は、控訴から50日以内に出すことになっている。8月30日現在まだ出されていらい。

本の紹介

「原発被ばく労災」

― 拡がる健康被害と労災補償

被ばく労働を考えるネットワーク編

三一書房 一七〇〇円十税

● 「上関原発建設の白紙撤回を、求める宇部

市民の会の会報オ2月号ができてきましたので、持ってきました。今回は、祝島訪問記と、

小中さんの辻立ち10周年が主な記事なので、ネットワークの通信に同封してもらって多くの方に読んでもらい、そして入会してもらえたらいいです。年会費は100円で、年4回発行します。

※入会を希望される方は表紙の浜野さんに一報を。

はじめに祝島を訪問された感想など、あらためて新鮮なものを感じます。(M)



● 私の知人の息子はエ専を出て、中電に就職が決まっていたが、原発の増設が見送られたことと採用が取りやめになった。もし増設をやるといふ方針が出されれば、中電はいつかエ専に取られるつもりで雇用まで確保していたのだ。

②

● 太陽光発電をやっている人が電力会社の買取価格が2円から1円と、ほぼ半額になつて、もうやつとられんと言っている。

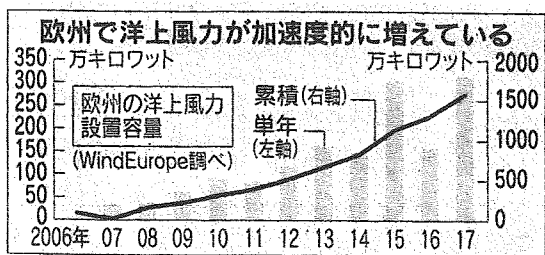
太陽光発電のパネルは日進月歩で、パネルの性能はよくなる、値段は下るといふ状態。

以前50kw(17世帯分)の2000kwだったのが今は300kwくらいで済むようになった。

● 東京電力はすでにかなりの電力を自然エネルギーで賄うと発表。こんな面白い話を民間にまかせておけないと。

洋上風力発電

発電効率は陸上の20~30%に
対し洋上は50%に近い。
'30年には'17年比10.8倍の
5490億キロワット時になると試算されている。
洋上風力の大型化を後押しするのは
独シーメンス・米GE、日本の三菱重工業。



(18.8.23日経)

●8月4日の朝日新聞に、名判決を出された樋口英明元福岡地裁裁判長のことが大きく写真入りで出ています。

●下松教会の九条の会。先日20名くらいで上野東子さんの話を聞きました。それで、自分たちも何かしようということになり、まず祝島へ行こうということになりました。



●中国5県連らく会議の総会が

11月17日(土)〜18日(日)

光かんぽの信

ごあります。誰でも参加できるのでご参加下さい。17日の夜は交流会があります。

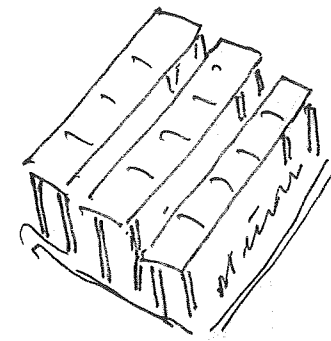
●中国5県の今一番の問題は島根原発の稼働のこと。

特に3号機はまだ核燃料を入れていない新品なので、今あまりめれば核廃棄物にはならない。しかし、交付金をもらわない鳥取県の自治体までが稼働に反対しないのはなぜだろう。わけがわからん。

——石破や竹下の地盤だからおさへ込まれるのではないか。

●ソーラーシェアリングという田圃や畑を耕作しながらその上に太陽光パネルを設置するというのを今やろうとしています。田圃や畑の中にパネルをのせるポールを立てるので、その部分だけは農地から転用することになるので、農業委員会との同意がいります。今、その届け出をしています。

県内では4ヶ所です。ソーラーシェアリングをやることが今決まっています。



●山口県のホームページを見てみて下さい。今も条件がルプノメを求めています。その一つ一つについて資料が200ページくらいあって、そんなの誰が読んだと思っただけで、マリバイつくりのためか、いつもごい教の1000メモのていませう。お募集はほとんどゼロ。たまりにアとていませうの私だったりして……



●イージスアショアについて。

秋田県知事はすでに反対の意見を表明している。

山口県も地元阿武町は反対。とりあえず、調査は日の入。

パトリオットも引き揚げたのに、なんでこれがイージスか。平和を構築しようとする東アジアの状況に逆行している。

北朝鮮とハワイの線上にあるのが秋田、グアムを結んだ線上にあるのが山口。要するにハワイ、グアムを北朝鮮のミサイルから守るためのものでした。しかし、今となつては必要ない。

③

安倍政権が、拉致問題をトランプにたより切っているのをごいりません」と言えないの、だろう。

この金を堤防工事にまわせば、川床が高くなつた川の浚渫にまわせば、ミサイルよりも災害から国民を守れ。

なにしろ超高度ミサイルをとらえようと言っているから、その電機液はインパルは、はず。

なにに防衛省は軍事秘密だからと口をつぐむ。これまでも巨大レーダーのまわりでは、あたり一帯の車のエンジンがくらくらなくなった、ドクターヘリが飛べなくなった、ということ。

日本は歴史的にもアメリカの不用になった武器を買わされてきた。アメリカの南北戦争が終ったあと、不要になった武器、兵器がたぶつた。

それをどうするか、それが日本にまわつて、明治維新に使われた。

阿武町は住民みなさんのアッパカカのみやまねど曲豆かな曲豆地が作られたとこうです。

この豊かさは、自然を水源を守りたい。

■裁判のこと。

8月は裁判がなかったため、日程は前号
に変わりました。

伊方原発再稼働差止め仮処分審尋

2018年9月28日(金) (山右国支部)

13時〜小倉正さん(原告さま)より

四国ネットワークのお話。

「伊方原発反対運動の歴史と

現状(仮題)」

15時〜裁判報告会(仮) 10/26 14:30〜

伊方原発再稼働差止めの仮処分審尋

2018年10月17日(水) 14時〜

伊方原発再稼働差止めの仮処分審尋

本訴2回目の裁判です。(山右国支部)

埋立免許差止めの(山口地裁)

2018年11月14日(水) 14時〜

中間判決が出ます。

自然の権利裁判(山口地裁)

2018年11月14日(水) 14時30分〜

中間判決が出ます。

上岡原発用地埋立禁止住民訴訟

控訴審(広島高裁)

日程は未定です。

「トリチウムを含む福島原発放射性廃液の

海洋投棄に反対する決議」文です。

原発いらん、山口ネットワークも賛同しました。

↓ P 8

その他原発をめぐる動き

8/10中電が島根3号機の審査申請

↓ P 9

● 原発賠償措置額引き上げ見送り

● 東電再生エネ数兆円事業に、原発再稼働厳しく風力

水力シフトワタ日経

● 環境省×ガソリン環境アセス義務化検討。8/7中電

● 電力不当回し込み規制・経産省 8/18中電

● トルコ原発5兆円規模、当初の2倍 8/4日経

● 東海再処理施設、1兆円が70年かけて廃止作業、7/27日経

● 東電・中部電力・東芝・日立「原発提提協賛」8/23日経

● 海上風力発電液に乗る。8/23日経 ↓ P 2

● 原水福福島で世界大会。原発推進政策中止を訴え

7/29中電

● 岡山県人形峠低レベル廃棄物埋設へ。2022年以降

8/18中電

イベント情報			
9月8日(土) 15:00~17:00	山城博治さん 講演会 ~私たちが憲法は 保障されているのか~	山口県セミナー110-7 大研修室2F 参加費 600円	PLネステイ 宇部,下岡 山口770-70 090-5522- 0696
9月9日(日) 14:00~17:00	原発いらん!山口ネットワ ーク 例会	周南市総合庁舎 7F 3号ホール	0820-55- 6291(1F)
9月12日(水) 11:40~	朝鮮学校への補助金 復活を!座談会と討論	山口県庁前広場	083-223 -9355
9月22日(土) 13:30~	ドキュメンタリー映画 「蒼のシンボニー」 2部3 (7)シエ同封)	山口市民会館 小ホール 当日999円 発売900円	上映実行 委員会 090-3630 -5749 (MF付)
9月28日(金)	伊方原発差止めの仮処分 13:00~学習会 15:00~審尋内容説明会	岩国市公民館 中央	0834-31 -4132
10月2日(火)	ふしどりマユ・ケン	柳井市	
10月8日(月) 15:00~	横田耕一さんの話 天皇代替わりに象徴 天皇制を考へる	浮上真宗 本願寺山口別院 大会議室 500円	念仏者九条 の会・山口 083-231 -7274

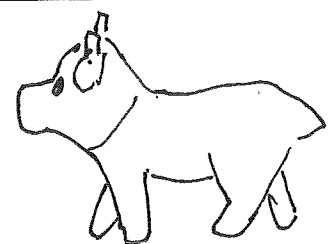
原発再稼働や
建設中止要請

中電に市民団体

中国地方の労組や市民団
体でつくる中国ブロック平
和フォーラム・原水禁(松
江市)は25日、中国電力に
対し、豊根原発(同)2号
機の再稼働と3号機の新
規稼働、上関原発(山口県
上関町)の建設計画のそれ
ぞれについて中止を求め
た。

梶原洋一議長たち14人が
広島市中区の中電本社を訪
れ、担当社員に要請書を手
渡した。中電が3号機の稼
働に向けて立地自治体の島
根県と松江市に事前了解を
申し入れたことに触れ「大
きな動きがあると判断して
要請に来た」と説明。住民
の安心安全のため2、3号
機の廃炉と、立地自治体と
同じ安全協定を30キロ圏内の
全ての自治体と結ぶことを
求めた。

中電側は「意見は真摯に
受け止める。原子力には一
定の役割がある。安全確保
に万全を期して取り組む」
と答えた。



広島で、8月6日の夕方平和公園の一角で
「Go West, Come West!!! 東北、関東放射能汚染からの
避難者と仲間たち」のメンバーの女性からマイクで通行人に
語りかけたスピーチです。(2-4ページで見れます)

広島原爆投下の日のスピーチ

(1)

動画はこちら

<https://youtu.be/qEGC0c46US4>

私たちの住む日本は、原爆を落とされました。

でも、私たちは知っているのでしょうか。

この核の爆弾の、もう一つの姿のこと、を。

それは、目に見えない、音のしない、とても、静かな爆弾です。

それは、ないことにするのはとても簡単です。

原爆が落ちた後の9月、米軍の偉い人が東京で声明を出しました。

「広島、長崎で死ぬべきものは皆死んだ。現在、放射能のために苦しんでいるものは皆無だ」

そして、それが米国の公式見解となっていきました。

放射能、この静かな爆弾の犠牲者は存在しないことになっています。

7年前、福島第一原発という核の発電所が、事故を起こしました。

核の大惨事、です。それは今も進行中です。

今、私達日本人は、この見えない静かな爆弾と共に日々を暮らしています。

それは、内部被曝という爆弾です。

人の体を侵していく目に見えない暴力です。

「じわりじわりと生命が蝕まれて、いつかぞろぞろと殺される」

被爆者を見てきたお医者さん肥田舜太郎先生は、そう話します、放射能は目に見えない暴力なんだと。

73年前、被爆国となった日本、に住む人たちは、今度は今、進行中の原発事故によって、内部被曝という爆弾を受け続けています。

でも今私たちはこのこと、この内部被曝という爆弾について、ほぼ何も知らされないし、知りません。

なぜなのでしょう？

それは、被害者の被害について、被曝について話をするのは、それはいつも加害者の側、この爆弾を作った人や、協力する側、落とされた側、だからです

私達の住む日本は、原爆を落とされました。そして福島第一原発の進行中の事故ともいながら、放射線や放射能が、人間にどんな影響及ぼすのか、実は知られることもなければ理解もしていないのです。

だから私たちは知ることができません。

自分の体が痛むのが、愛する人たちが苦しむ倒れるのが、それが放射能の影響だなんて、想像することができません。

でも今、事故から7年して、何が起きているのでしょうか。特に原発の放射能の汚染が行った東日本で、何が起きているのでしょうか。

それらは、隠しておきたい側が狙う通りに、全く報道されることがなく、放射能と言う言葉そのものがタブーとなっている社会が出来上がっていきました。

内部被曝とは、ゆっくりと落ちる爆弾です。

閃光により一瞬で焼き殺されるわけでは無いのです。

爆弾がゆっくりと落とされていく、私たちはこんなことが進んでいくことを、許したくなくてここに立っています。

私たちGowestは、

Go West, Come West!!! 逃げよう、と、西日本への避難を呼びかけています。

3.11東北・関東放射能汚染からの避難者と仲間たち、といえます。

私はそのなかの、ひとりの避難者です。

私は関西、神戸へ、福島原発事故の3年後に家族で避難移住してきました。

私はどこから避難してきたと思いますか？

私が避難してきたところは東京です

オリンピックが開かれようとしているところです。

皆さん東京には深刻な放射能汚染があるということをご存知ですか？

私の娘は事故が起きた時5歳でした 元気一杯の健康な子どもでした。

でも事故から1年が過ぎた頃娘の体調は おかしく なっていき、わけのわからない症状で悩まされるようになりました

「お母さん気持ちが悪い」 まずこれなんです。

一体何千何万回聞いたことでしょうか。そして、「力がでない、体がフラフラする、足が痛い、手が痛い、体中が痛い」

最後には 普通の生活が全く送れないくらいにまでひどくなってしまいました。

そして そんな時に私はひとりのお医者さんに出会いました。首都圏で放射能の問題に取り組んでいるお医者さんでした。

先生は 汚染のある 東日本から 西へ行ったりすると 具合の悪い子が 子供によってはメキメキと元気になる ことがあると話されていました。私はピンとききました。

この先生の 検査によると 首都圏の子供達の白血球の数、特にその中の好中球の数が ひどく 下がってきている ということでした。

そしてこれは後でわかったのですがうちの二人の子供達にも同じ傾向が見られていました。

私はとにかく娘を東京から離しました。富山、沖縄、神戸、放射能汚染のない土地に行くと娘は嘘のようにメキメキと元気になりました。でも東京に戻るとまた駄目になってしまう。私達には東京に止まるといふ選択肢はありませんでした。ただただ東京から逃げてきました。

(2)

(5)

今福島事故後の健康影響はないということになっています。

事故のあと、いつのまにか、放射能は安全だという話になっていきました。

放射能の問題は存在しないことになっています。でもそれは真実ではありません。

例えば福島の東方の場所はチェルノブイリの後であれば今も人は住んでいません。そして東京の汚染の一部の場所は避難の権利が存在する場所です。

私は、避難した人や、今、そこに住んでる人から、友人、親戚の体調不良、数多い病気、様々な難病、多くのガン、進行の異様に速いガン、同じ場所で続く突然死、若い人の突然死、ありふれた感染症などが急激に悪化しての突然死、私は聞き続けています。

そして首都圏の人たちを中心に、能力減退症と呼ばれる原爆ぶらぶら病のような症状が、広がっているそうです。

それは、脳やホルモンというところへの影響です。

私は、自分の娘がまさにこの影響を受けたことを、この1年半の間に検査などを通して知るようになりました。

見えない、静かな、大惨事が、進行中です。

それは、当たり前にあった健康な毎日を失うこと、病気になっていくこと、命をも失っていくこと。そんな大惨事です。

そして、日本人は今、この大惨事をみることができません。

だって放射能は問題なく、安全、ということになったから。被害のなどあるはずがないからです。

これらの人の病気や死が、放射能と結び付けられて話されたり、報道されることは、決してありません。

私の娘は、今、12歳になりました。

娘は、元気で、まいにちを楽しんでいます。

友達が大好きで、ここに、ずっといたい、と言います。

事故が起きたら、また、ここを動かなければならない、もう日本には住めなくなる、と、娘は知っています。

そして、娘を脅かすのは、事故だけではないです。

今日本では放射性物質は閉じ込める、汚染は閉じ込める、という基本的なことをしようとしていません。

それどころかあえて拡散をしています。

だって事故の後から放射能は危険とは言われなくなったんですから！

これくらいなら大丈夫、安全として薄めて全国に散りばめられて行っています。それは食べて応援として食べ物の中に。建築資材 肥料飼料として流通しているもののなかに。汚染が紛れているのです。

基準は80倍に緩められて、放射性廃棄物は全国で公共資材として再利用される計画が進んでいます。そして次々に焼却されようとしています。

燃やすことは放射性物質が高度に濃縮された灰となり、または放射性微粒子として私たちの空気を汚染します。

日本は今原子力緊急事態宣言がずっと発令中の国です。それはこの7年間。

そして全く収束などしていない福島第一原発の地獄の釜からは毎日大量の放射性物質が空気中にも放出されていてそれはこの広島にも来ています。

(3)

いま、私たちはこれらのことから一切守られることがありません。きちんとした報道がされないこのことを知る人も少ないはずですよ。(4)

これら全ては、なぜなら、放射能は安全ということになったから。

なぜそうなったのか、て、それは原発を再稼働して、それを振り所とする経済を回していくためです。

同じなんです。

原爆が落とされて1か月も経っていない9月に、現在、放射能により苦しんでいるものは皆無だ、と断言されたことと。

ずっとずっと、今に至るまで、放射能の内部被曝による被害が、被爆者の間にその存在が認められていない、ということ。

それはなぜなのか？

ひとえにそれは、これからも核兵器を開発していくため、です。

核による放射能の問題はどこでも同じようなことがされています。

原爆の投下の後は初期放射線による外部被曝、のみが話され、死の灰などによる内部被曝は、その存在を無視されて切り捨てられて行きました。

原発事故の後は、「空間線量は下り、安全です、避難の必要はありません」と繰り返されます。

空間線量は外部被曝を測るものさしです。

内部被曝を見るのなら、絶対的に土壌の汚染と言うものをしっかり測らなければ、みなければならぬのに、それは今、完全に無視をされています。

そしてその土壌汚染を見れば、東日本は広く深刻な汚染があり、多くの放射線管理区域を超える場所に、妊婦さんも子供も住んでいます。

でも、そこは絶対に見ないし話されません。

みなさん、核兵器を開発し手に入れようとしている人たち、そして原子力を推進しようとしている人たち、つまりは核に携わる人にとって、「放射能による内部被曝」と言うものは、急所。急所だからこそ絶対に隠さなければならず、隠されてきたものです。

私たちは内部被曝という核の暴力を、見ないように、見えないようにされています。

だから原発事故が起きて、何を奪われ失っているのか、そのことに気づくことさえできないのです。

もし、本当に核の廃絶を願うなら、私たちはこの内部被曝、の問題に、力を合わせて、精一杯向き合っていかなければならない、共有して行かなきゃならないと思うのです。

私は原発避難者のひとりとして

原発事故によるヒパクシャの1人として

そして、健康被害に苦しんだ、苦しんでいるひとりの子供の親として

核により苦しめられたひとり、として、

心からそれを祈ります。

今原発事故の日本で起きていることは、核戦争の1つの形です。

今私たちの頭上にゆっくりと落ちている見えない静かな核爆弾から、みなさんどうか、人間の命と未来を守っていきましょう。ありがとうございます。

(6)

原発労災梅田裁判・最高裁「棄却」

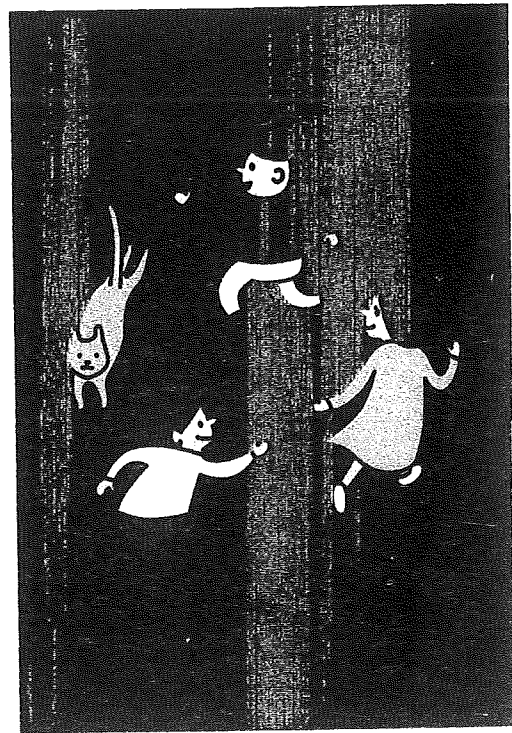
労災申請から約10年、福岡地裁への提訴から約6年半。過酷な原発労働の実態を闇に葬り去ろうとする不当な判決が下った。

7月11日、最高裁第二小法廷は、梅田隆亮さんの主張について実質的な判断を一切示さず、上告理由に該当しないとして上告を棄却した。上告受理申立ても受理しない決定をした。昨年12月4日、福岡高裁が控訴を棄却したため、最高裁に上告していた。1979年当時、島根原発、敦賀原発で配管工として従事した際、梅田さんが発症した鼻出血やめまい、全身倦怠感などの症状は被ばくと無関係で、計器類の「預け」などの事実も否定し、被ばく線量は8.6mSvにとどまるとした。被ばくと心筋梗塞についても、因果関係を否定した。梅田さんと弁護団は、今後も被ばく労働者の裁判を通じて、司法判断の誤りや不正義とたたかいたいとしている。

(原子力資料情報室通信より)

アメリカなどと較べても原発内労働のヒバクによる労災をなかなか認めない日本。

それに追打ちをかける最高裁の判決。福島事故炉の今後の作業、増えいく廃炉の作業の時代を迎えて、これでは労働者を弁れない。

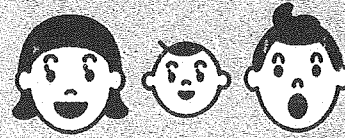


東京電力福島第一原子力発電所の事故の放射線で、周辺の人々の健康に影響はなかったの？
周辺の人々が受けた放射線に関する調査などの結果、福島県での被ばく線量は極めて限られており、健康に影響が出たとは証明されていません。

すでに小児甲状腺がんの発生率は通常の100倍に達している。

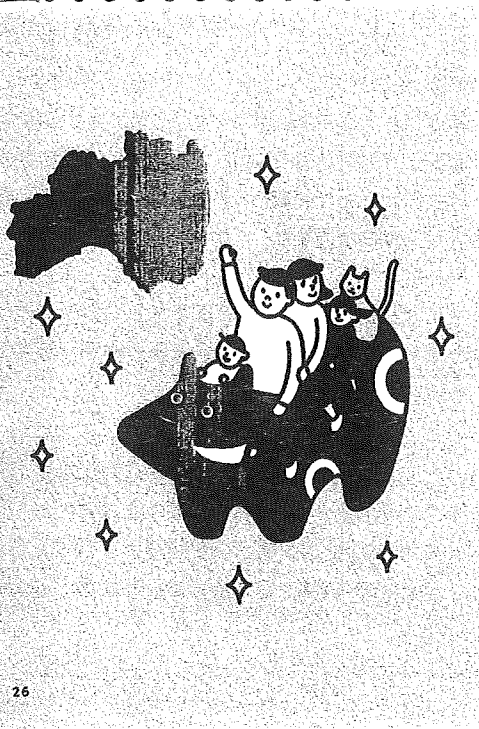
知るといふ復興支援があります。

放射線のホント



復興庁
RECONSTRUCTION AGENCY

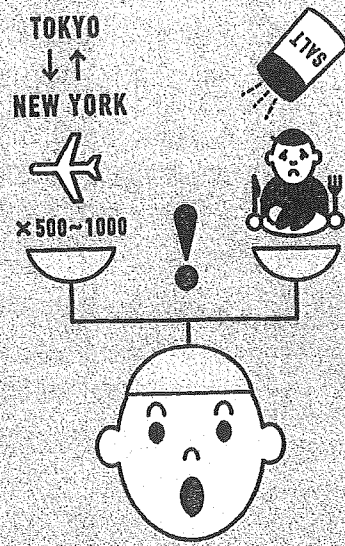
「放射線のウソ」と改題せよ！



東京電力福島第一原子力発電所周辺地域の人々は今どうしているの？
福島県では約190万人の人々が通常の生活を営んでいます。また、県全体の面積の2.7%まで避難指示区域が縮小し、ふるさとに帰った人たちにも日常の暮らしが戻りつつあります。

帰還している人はたったの6%。高齢者のみ。

⑦



どれくらいの量なら健康に影響があるの？
100ミリシーベルト以上被ばくするとがんで死亡するリスクが上がると言われています。100〜200ミリシーベルトの被ばくでの発がんリスクの増加は、野菜不足や塩分の取りすぎと同じくらいです。
ちなみに100ミリシーベルトは、航空機で東京・ニューヨーク間を約500〜1000往復した場合の被ばくに相当します。

IAEA/ICRPで「一般人は年間1ミリシーベルト以下まで」と決められる。100〜200ミリシーベルトは非常に高い値。元々「ウソ」では5ミリシーベルト以上で移住！

この外にも「放射線のせい」は遠慮しません
←
そんなことはない。
福島でヒバクしたカタバミを食べさせたシジミチヨウワ、世代がオムと様々な大事故が生れた。
さらにIAEAは世界中で、放射線による遺伝を研究しようとする研究者を弾圧し続けている。

118.8.30.福島県内で意見聴取会が開かれ、漁民、市民から多くの反対意見が出されています。
この決議に「原発いらん！山口ネットワーク」も賛同しています。

トリチウムを含む福島原発放射性廃液の海洋投棄に反対する決議

市民と科学者の内部被曝問題研究会有志及び内部被曝を憂慮する市民と科学者
2018年7月20日

福島原発事故によるトリチウム総量は約3400兆ベクレル、2014年3月でタンク貯留水中に830兆ベクレルのトリチウムがあると発表されている。この膨大な放射性廃液はその後増加する一方である。そのため、漁連などの反対運動の隙があれば、政府・東電はトリチウムを含む福島原発事故廃液の処理・処分として、それを希釈して海洋に投棄しようとしてきた。現在、ここに至っていよいよ政府は海洋投棄の実施に踏み切ろうとしている。原子力規制委員会の更田豊志委員長は規制するどころか海洋投棄を提唱し、先導している。

我々は以下の理由で放射性廃液を海洋に投棄することは決してすべきでないと考える。

1. トリチウムは生命・健康への危険性が少ないと誤解されているが非常に危険な放射性物質である。なぜなら、人体の大部分を占める通常の水と化学的に区別がつかず、生体のあらゆる場所に取り込まれ、内部から被曝させ、活性酸素等を介して間接的に細胞膜やミトコンドリアを破壊する。また、直接的に遺伝子、DNAの化学結合を切断する。トリチウム特有の危険性として遺伝子の水素原子とトリチウムが入れ替わるとベータ(β)崩壊でトリチウムがヘリウムに変わることによって遺伝子の化学結合が切断される。
植物は炭酸同化作用によって水と炭酸ガスからでんぷんを作る。このでんぷんの水素原子がトリチウムに変わることによって有機トリチウムが形成され、動植物や人間が体の一部としてその有機トリチウムを長期間取り込み、内部被曝する。
2. このようにして、原発から放出されたトリチウムによって玄海原発周辺の住民の白血病の増加、世界各国の再処理工場周辺の小児白血病の増加、原発周辺の小児がんの増加等が報告されている。現実に被害が発生しているのである。
3. たとえ、希釈して海洋投棄されたとしても食物連鎖などの生態系を通じて濃縮される。さらに気化してトリチウムを含む水蒸気や水素ガスなどとなって陸地に戻り、環境中を循環する可能性がある。希釈すれば安全というのは過去に多くの公害問題でくりかえされた誤りであり、環境に放出される総量こそ問題である。それ故、放射性物質や有害物質は徹底的に閉じ込め生態系から隔離することが公害問題では唯一正しい原則的な対応である。

以上のようにトリチウムは半減期が12年と長く、長期にわたって環境を破壊する。生体の大部分を、さらに遺伝子をも構成する水素の同位体であるから、希釈して投棄して安全とは言えない。それ故、トリチウムの海洋投棄を決して行わないよう政府・原子力規制委員会に強く要請する。

環境アセス義務化検討

環境省 メガソーラー急増受け

環境省は、全国で急増する大規模太陽光発電所(メガソーラー)に対し、法律に基づく環境影響評価(アセスメント)を義務付ける方向で検討を始める。森林を伐採して建設する自然破壊が各地で相次ぎ、一定の歯止めをかける狙いだ。これぐらいの施設規模からアセスの対象にするかが焦点で、早ければ来年秋にも導入を目指す。

太陽光発電は、再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度が始まった2012年以降に急増。出力10 MW以上の非住宅設備に絞っても、12〜16年度に原発30基分に近い28875万kWが導入された。

一方、林野庁によると、太陽光発電の施設を造るため16年度に開発が許可された森林面積は約2600haと、12年度の約1.5倍に上ると、地域トラブルも増え、茨城

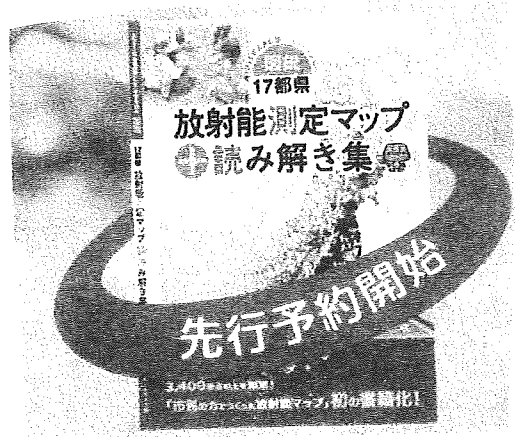
これを受け環境省は、義務付け対象を「特に大規模な施設に絞る方向で検討。今月30日に有識者会議の初会合を開き、対象となる施設の発電規模や面積の基準、景観・生態系への影響評価の手法などを議論し、本年度中にも報告をまとめる方針だ。

クリック

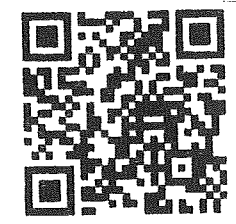
環境アセスを法律で義務付ければ、建設期間の長期化やコストの増大につながる。事業者側は懸念を強める。負担増を嫌ってメガソーラー建設の動きが鈍れば、再生可能エネルギーの拡大を目指す政府方針にも水を差しかねない。

メガソーラー 出力が千結(1kW)以上の大規模な太陽光発電所。風力や水力、地熱といった他の再生可能エネルギーと違って、法律に基づく環境影響評価(アセスメント)が義務付けられておらず、建設期間が比較的短いとされる。化石燃料を使わないため二酸化炭素(CO₂)の排出削減につながるが、発電量は天候に左右される。建設用地確保のために森林を大規模伐採したり、発電設備が周辺の景観を阻害したりしてトラブルになるケースもある。

本の紹介



※初版部数に限りがあります。
※一般書店では入手困難です。
A4版・フルカラー (144ページ(予定))
ISBN 978-4-9910427-0-6
定価 2,500円(税込)
発行：みんなのデータサイト出版



みんなのデータサイト調査期間6年間の集大成ついに書籍化。
原発事故後に立ち上った、市民放射能測定室のネットワーク。33測定室が所属。

URL <https://motion-gallery.net/projects/minnanods>

←ここに注文。 (8)

不減の名判決を書かれた樋口英明元裁判長の話

大飯原発差し止め元裁判長

「命・生活を守るのが使命」

18.8.27 中口



インタビューに答える福井地裁元裁判長の樋口氏

2014年に福井地裁で関西電力大飯原発3、4号機(福井県)の再稼働を認めない判決を出した樋口英明元裁判長(66)が26日までに共同通信のインタビューに応じ、「国民の命と生活を守るのが裁判所の使命だ。東京電力福島第1原発事故で、どういった場合に過酷事故になるかははっきりしたのだから、それに従って考えなければ」と判決に至った経緯を語った。

樋口氏は「日本では珍しくない強さの地震が原発にも来る可能性はあるのではないかと」という具体的危険の話をして、福島のよくな過酷事故が起きる具体的危険があったら、止めなくてはならない」と指摘。

大飯原発訴訟で争点となった、基準地震動(耐震設計の目安となる揺れ)を超える地震が来るかどうかについて「来ない」というのは悪魔の証明に属する。いくら科学が進んでもこのような地震予知は不可能だと述べて、判決前の10年足らずの間に、国内の原発で基準地震動を超える地震が5回も起きた事実が決定的だったと振り返った。

今年7月の控訴審判決で、名古屋高裁金沢支部が一審判決を取り消したことに「(一審で)どかが危ないが具体的に書いたが全く無視された。原子力規制委員会の審査を通ったから心配するな」というのでは答えになっていない」と批判。「3・11で原子力行政に対する信頼は世の中からなくなった。専門家の言うことだから信頼する」という目で見て、何も見えなくなる」と訴えた。

原発訴訟では、専門家の知見を尊重し、司法は行政の手続きに不合理な点があるかどうかを判断するとして1992年の伊方原発訴訟最高裁判決の考え方が踏襲されることが多い。金沢支部判決もそれを踏まえ、原発の新規制基準や大飯原発が新基準に適合するとしてた規制委の判断を合理的と認めた。

樋口氏は「合理的」というのは、つじつまが合っているかではなく、福島のよくな事故を「度を超えて」といって道理に合っているかだ。つじつまで判断するなら規制委にお墨付きを与えるだけになる」と反論。原発訴訟を担当する裁判官に対し「事故を繰り返した今、原発の危険性を判断せずに何を判断するのか」という心構えを持って臨んでほしい」と求めた。

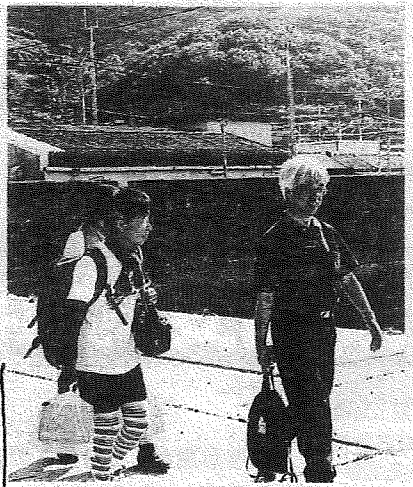
一審判決には、原発停止による電力供給コストの上昇を「国富の流出」などとする意見に対し、豊かな国土でそこに国民が根を張り生活していることが国富であり、これを取り戻すことができないことになることが国富の喪失である」と述べたりがある。これについて樋口氏は「真の保守にも革新にも、納得してもらえないように考え抜いた文章だ」と明かした。

福島県民、祝島を訪問

原発計画反対住民と交流

東京電力福島第1原発事故の被災地、福島県の住民たちが6日、中国電力上関原発建設計画のある上関町祝島を訪れ、計画反対を訴える島民と交流した。

福島県平和フォーラムの角田政志代表(59)たちが初めて来島。交流会で角田代表は、昨年3月に福島県内の大



祝島を見て回る角田代表たち

果」と強調。原発反対を拒否した。

また東電が福島第2原発の廃炉を検討することに対し「署名を45万筆集めた運動の成果を初めて実現。上関原発を建てさせない祝島島民の会の清水敏保代表は「原発事故が起きると地域の生活環境が長く失われることがよく伝わった」と話している。

へ世論を動かす必要性を指摘した。

交流会は原水禁山口県民会議の呼び掛けで初めて実現。上関原発を建てさせない祝島島民の会の清水敏保代表は「原発事故が起きると地域の生活環境が長く失われることがよく伝わった」と話している。

(堀野也)

電力会社が考えているのは収益のことばかり。事故が起きたら「国民の皆さんが願った」では、国民はたまらん!

原発賠償措置額引き上げ見送り

政府部会が最終案

原発事故に伴う賠償の仕組みを定めた原子力損害賠償法の見直しを議論して

政府は秋の臨時国会に、賠償措置額を据え置いた原賠法改正案を提出する方針。

東京電力福島第1原発事故により今年7月時点で8兆円を超える巨額の賠償金が発生し、原賠法で定めた民間保険や政府補償による賠償措置額の上限を引き上げる必要性が指摘されていたが、政府と電力会社間で調整が付かず、引き上げを見送る。事故への備えが十分なまま、原発の再稼働だけが進むことになる。

きた政府の専門部会は6日、現行で最大1200億円となっている事故前に備える賠償金(賠償措置額)の引き上げを見送ることを盛り込んだ報告書の最終案をまとめた。国民からの意見募集を経て正式決定する。

台湾で住民投票実施へ

福島など5県の食品輸入

【台北共同】福島や千葉など5県の日本産食品の輸入規制の解除に反対する台湾の野党、国民党は7日、規制の是非を問う住民投票を実施する意向を明らかにした。

10数万人の署名をくり返しついに原賠法を勝ちとった台湾。

放射能汚染はない、放射線は安全とウソを口民におしつける

日本政府のなんとこりうなごりなごり国民が、なのかも。

・5%に当たる約28万人の署名が必要だが、国民党は約48万人の署名を集めた。大気汚染対策として火力発電の比率を下げることや、新北市の火力発電所建設中止を問う住民投票案でも必要な署名を集め、中央選挙委員会に送った。

日本産食品を巡る住民投票を提案した郝龍斌国民党副主席は「(与党の)民主進歩党は市民の健康や環境を無視している」などと批判した。統一地方選へ向けて与党批判を盛り上げる狙いがある。

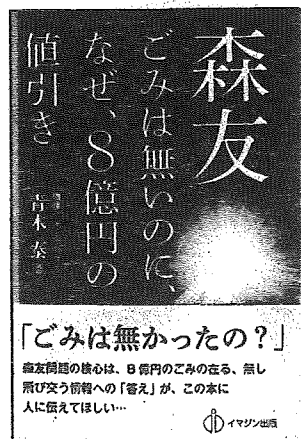
台湾では2018年1月に住民投票法を改正、実施基準を緩和したため提案が続出、統一地方選に合わせ18件で手続きが進行している。台湾は東京電力福島第1原発事故以降、5県の日本産食品の輸入規制を続けており、日本は規制撤廃を求めている。

目からウロコの“森友問題” 青木 泰著 「森友 ごみは無いのに、なぜ、8億円の値引き」

前著『引き裂かれた「絆」—がれきトリック、環境省との攻防1000日』に続く、青木泰さんの「森友問題」の本の紹介です。

この本の帯を見ると、「ごみは無かったの？」とありますが、実は、本当にごみは無かったのです。青木さんは言います。

森友問題の核心は、8億円のごみの在る、無し飛び交う情報への「答え」が、この本に人に伝えてほしい



イマジン出版 2018年6月

なかったようだ、と主催者。そのため、青木さんは、この新刊本をエイ、ヤット、参加者にただ=無料で配ったのです。

さて、まず、もくじ（小見出しは抜粋）から紹介します。ゆっくりと読んでください。きっと、本を読みたくなくなるでしょう。

「もくじ（抜粋）」から

第1章 森友学園が、国有地を格安で入手する経緯

- ・森友問題一気に全国での話題に
- ・学校法人取得と用地取得の謎

第2章 検証—8億円の値引きと埋設ごみ2万tの推定

- ・同じ履歴の隣接する豊中市購入の土地との10倍差
- ・調査報告書の地層図に示された3m以深の様子

第3章 産廃マニフェストが明らかにする「3m以深にごみは無い」

- ・産廃マニフェスト入手までの経緯
- ・大手メディアが報じなかった真実

第4章 籠池氏逮捕と市民の告発（背任罪&公用文書毀損罪）の受理

- ・佐川前理財局長の国税庁長官就任と籠池夫妻の逮捕
- ・特捜部は市民団体の告発状を受理した

第5章 会計検査院の報告、「格安払い下げ」は適切ではなかった

- ・森友問題 8億円値下げ「根拠不十分」——会計検査院指摘
- ・明るみに出た事実を隠す—（特例処理、嘘、隠蔽）

第6章 朝日新聞のスクープ契約決済文書の書き換えから改ざんへ

- ・大手メディア、各紙・各TVでも、書き換え、改ざん批判
- ・改ざん前の決済原本でも、隠されていた森友の核心点

第7章 佐川証人喚問と偽証

- ・佐川証人喚問は、国会での虚偽答弁が発端
- ・「すべて不動産鑑定にかけた」という偽証

第8章 国交省もごみの混入率を改ざん

- ・国交省の2万t算定で使った、ごみの混入率の問題
- ・撤去したごみの撤去費用二重払いの疑い

第9章 総まとめ

- ・国の仮説の科学的な検証
- ・一つひとつのファクト（偽物）が織りなす驚く事実

*

2017年の春に発覚したこの問題の現在までの流れが、簡潔にまとめられていることがよくわかります。読むと、ああ、そうだった、とか、ふ〜ん、本当はそうだったんだとか、1年以上続いている騒動の全体像がしっかりと伝わってきます。

私のように、この問題を知ったとき、ウン、これでアベ政権を倒せるぞ、とにらんだ人もいたに違いない

のです。森友問題は、政府が潰れてもおかしくないほどの、重大な国有地の払い下げに絡んだ悪事です。

安倍総理のトンでもない答弁

2017年2月17日、安倍総理が衆議院予算委員会で森友学園問題について、失言といわれてもおかしくない答弁を、大変有名になりました。

この日、首相に質問したのは民進党の福島伸亨（のぶゆき）議員でした。正確を期して、その日のデジタル毎日新聞を紹介しましょう。

毎日新聞2017年2月17日 20時00分
(最終更新 2月17日 20時43分)

安倍晋三首相は17日の衆院予算委員会で、国有地を格安で買い取った学校法人「森友学園」が設立する私立小学校の認可や国有地払い下げに関し、「私や妻が関係していたということになれば、首相も国会議員も辞める」と述べた。小学校は今春に大阪府豊中市で開校予定で、「名誉校長」は首相夫人の昭恵さんが就任する見通し。

民進党の福島伸亨氏への答弁。福島氏は、同学園が過去に「安倍晋三記念小学校」の名目で寄付が募られていたとも指



衆院予算委員会で答弁に立つ安倍晋三首相 =国会内で2017年2月17日、川田雅浩撮影

摘。首相は寄付について、「初めて知った」とした上で、「私の考え方に共鳴している人から『安倍晋三小学校』にしたいとの話があったが、お断りした。現役の政治家である以上、私の名前を冠にするのはふさわしくない」と説明した。

また、該当の国有地の売買価格が評価額を大幅に下回っていたことに関し、財務省の佐川宣寿理財局長は予算委で「国有地は時価で売るのが基本で、適正な価格で売っている」と述べた。評価額は9億5600万円だったが、ガラスや木くずなどのごみ処理費として約8億円を減額し、売却額は1億3400万円だった。

【加藤明子】

この答弁が、安倍政権を揺るがす大騒動の幕開きとなったのです。

「はじめに」から

青木泰さんは、本の「はじめに」で次のように言っ

ています（抜粋）。

*

自然科学の発展をもたらした手法は、近代国家やジャーナリズムの中では経験蓄積されていないのだろうか？ 理系ジャーナリストが森友問題を1年間追いかけての感想である。

国と森友学園との契約決済文書の朝日新聞による「書き換え」疑惑報道は、大スクープとなった。国が明らかにしていた公文書が、改ざんされれば、立憲国家の枠組みが崩壊する。そのためこの「書き換え」「改ざん」問題には、すべての大手メディアも批判的に報道した。

一方、改ざんの舞台となった森友問題の核心は、8億円格安値引きの理由とされた2万tのごみの存在であることは、大手メディアでも繰り返し報道してきた。

ところが、では国が言う埋設ごみは在ったのか？ 無かったのか？ 正面から事実を報じ、国の責任を問う大手メディアの報道は、1年以上経過する今も見ることではない。

8億円の値引きを行う埋設ごみは無かったという事実は、インターネット上でも報告されている。大手メディアが「埋設ごみが無かった」を「改ざん問題」のように報じ、国民の誰もがこの事実を知れば、事態は変わる。

.....

国有財産が、十分の1の値段で、ただ同然で、なぜ払い下げられるのか？

国有財産は、厳密に管理されているはずが、正当な理由があったのか？

他の国有財産の管理は心配ないのか？

それとも森友学園の名誉校長が、首相夫人だったために、不当に値引きが行われたのか？

市民が持ったこうした当たり前の疑念にたいし、国は、驚くべき対応をとった。やり取りの記録は破棄し、国会の質疑でも、後で虚偽と分かる答弁を繰り返し、「適性に処理された」と言い続けた。国も担当大臣も首相もその答弁を繰り返した。

8億円値引きの理由は、撤去しなければ校舎建設に支障をきたす埋設ごみが、地下深く2万tもあり、その撤去費に8億円かかるということだった。ところが、校舎建設は、2016年末までには終了し立派に建設されていた。もし建設に邪魔になる埋設ごみが在ったとしたらすべて掘削・撤去されていたはずである。しかしこの1年、2万tのごみは、見つからなかった。

2018.7.26 テラニ作成 アヒンガー